

平成28年度  
川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書  
(平成27年度実施事業)

川口市教育委員会



## も く じ

### ■ はじめに

1 趣 旨	—	1
2 目 的	—	1
3 外部評価の対象	—	1
4 外部評価の方法と順序	—	1
5 評価の区分	—	1
6 外部評価結果	—	2
7 今後の取り組み	—	2
8 平成28年度外部評価委員	—	2

### ■ 平成28年度評価結果一覧

	—	3
--	---	---

### ■ 施策評価調書

No. 1 幼児教育の充実	—	5
No. 2 義務教育の充実	—	7
No. 3 高等学校教育の充実	—	11
No. 4 学校の教育力の向上	—	13
No. 5 学校教育施設の耐震化の推進	—	15
No. 6 社会教育施設の整備・充実	—	17
No. 7 生涯学習事業の充実	—	19
No. 8 生涯学習活動の支援	—	21
No. 9 スポーツ・レクリエーション活動の支援	—	23
No. 10 スポーツ施設の整備・充実	—	25
No. 11 文化芸術活動の支援	—	27
No. 12 文化施設の整備・充実	—	29
No. 13 文化財の保護と活用	—	31
No. 14 歴史的文書の保存と活用	—	33

はじめに

## 1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

併せて、点検及び評価を行うに当たり、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、川口市教育委員会が行った事務点検・外部評価（以下「外部評価」という。）の結果をまとめたものです。

## 2 目 的

川口市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進に資すること並びにその結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

## 3 外部評価の対象

川口市では、市政運営の指針となる「第4次川口市総合計画」を平成22年度に策定し、行政分野別計画の第2章「教育・文化」に教育行政が取り組むべき14の施策を掲げています。この施策は、年度毎に策定している教育行政重点施策とも重なっていることから、平成27年度と同様に、この14施策を外部評価の対象としました。

## 4 外部評価の方法と順序

「第4次川口市総合計画」に基づいた行政評価制度により職員による内部評価を行い、施策評価調書を作成しました。

この施策評価調書の各施策について教育に関し学識経験等を有する外部の方々から、ご評価をいただくとともに、ご意見、ご助言をいただきました。

## 5 評価の区分

「27年度における取り組みの内容」、「27年度における取り組みの成果」、「残されている課題」及び「指標の達成状況」等を総合的に判断し、下記の4つの区分にて内部評価及び外部評価を行いました。

- 「A」…施策の目的実現に向けて27年度の目標は達成されている。
- 「B」…施策の目的実現に向けて27年度の目標は概ね達成されている。
- 「C」…上記Bと比較して達成状況は低い。
- 「D」…施策の目的実現に向けて27年度の目標はほとんど達成されていない。

## 6 外部評価結果

全14施策の外部評価結果は、「A：達成されている」との評価が12施策、「B：概ね達成されている」との評価が2施策で、14施策全てが、内部評価と同じ又は内部評価結果よりも高い評価となりました。

委員からは、本市教育委員会において取り組んでいる全14施策について、「達成されている」又は「概ね達成されている」との評価を頂きましたが、一方で、「保護者のニーズを把握する工夫をして、幼児教育を支援する体制を整えて欲しい」、「今後は、若い世代にも広く周知し、参加しやすいものになるよう工夫することで、より充実した施策になることを期待する」等の今後の改善に向けてのご意見、ご助言をいただきました。

## 7 今後の取り組み

教育委員会では、今回の外部評価で頂いたご意見、ご助言を元に、検討を進め、今後の事業へのフィードバックを行い、本市独自の教育行政の推進に努めていきます。

また、施策と事業について、関連性を精査し、見直しを図るなど、より分かりやすい評価を実施し、市民への説明責任を果たしていきたいと考えています。

## 8 平成28年度外部評価委員

(50音順 敬称略)

氏 名	備 考
潮 田 香 織	川口市PTA連合会
久 保 村 里 正	文教大学 教育学部 教授
渡 邊 秀 人	川口市退職校長会

# 平成28年度評価結果一覧

章	節	施策 No.	コード	施策名	施策主管課	平成28年度							
						内部評価（職員における評価）				外部評価			
						達成 （A） されている	概ね （B） 達成されて いる	達成 （C） 状況は低い	ほとんど （D） 達成されて いない	達成 （A） されている	概ね （B） 達成されて いる	達成 （C） 状況は低い	ほとんど （D） 達成されて いない
第2章 教育・文化													
第1節 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進													
	No.1	211	幼児教育の充実	教育総務課		○				○			
	No.2	212	義務教育の充実	指導課		○				○			
	No.3	213	高等学校教育の充実	学務課	○				○				
	No.4	214	学校の教育力の向上	指導課	○				○				
	No.5	215	学校教育施設の耐震化の推進	教育総務課	○				○				
第3節 生涯学習の推進													
	No.6	231	社会教育施設の整備・充実	生涯学習課		○				○			
	No.7	232	生涯学習事業の充実	生涯学習課	○				○				
	No.8	233	生涯学習活動の支援	生涯学習課		○			○				
第4節 スポーツ・レクリエーション活動の推進													
	No.9	241	スポーツ・レクリエーション活動の支援	スポーツ課		○			○				
	No.10	242	スポーツ施設の整備・充実	スポーツ課		○			○				
第5節 文化芸術の振興													
	No.11	251	文化芸術活動の支援	文化推進室		○				○			
	No.12	252	文化施設の整備・充実	文化推進室	○				○				
第6節 文化財の保護・活用													
	No.13	261	文化財の保護と活用	文化財課	○				○				
	No.14	262	歴史的文書の保存と活用	文化財課		○			○				
計					6	8	0	0	10	4	0	0	

# 施策評価調書

# 施策No. 1

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先 2451

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育む。学校教育の始まりである幼稚園で、基本的な生活習慣を身に付け、学習意欲を養い、小学校生活がスムーズにスタート出来るよう教育環境の整備をする。

<b>27年度における取り組みの内容</b>	<b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b>
教職員の資質の向上のため私立幼稚園協会等が実施した研修に対して助成を行うと伴に、教育環境整備のため市内の私立幼稚園が借入した資金の、利子部分の助成を行った。また、市立幼稚園に、特色ある幼稚園づくりの推進のための人材を派遣した。一方で、幼稚園に通っている家庭に対して、就園奨励費補助金等を前年度より一部増額して交付した。	幼稚園に各種補助金等を交付したことにより、教職員の資質の向上や施設整備の促進など幼児教育の充実が図られた。また、市立幼稚園に人材を派遣したことにより、特色ある幼稚園づくりが推進された。更に、幼稚園に通っている家庭に補助金を交付したことにより、家庭の経済的負担の軽減が図られ、就園の機会の拡充につながった。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

施策目的を達成するため、認可私立幼稚園・認可市立幼稚園相互の連携と、幼稚園、小学校、中学校の相互のより一層の連携が課題となっている。

指標①	名称	私立幼稚園定員充足率	単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/定員数×100 過去の実績から算出				
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)
	目標値	91.0	92.0	92.0	92.0	93.0
	実績値・達成状況	91.5 達成	91.9 未達成	90.9 未達成	91.5 未達成	90.4 未達成
指標②	名称	就園率	単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/3、4、5歳児人口×100 過去の実績から算出				
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)
	目標値	66.0	67.0	67.0	67.0	68.0
	実績値・達成状況	66.6 達成	66.8 未達成	66.8 未達成	67.4 達成	66.6 未達成
指標③	名称		単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式					
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)
	目標値					
	実績値・達成状況					-

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「-」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	809,102	840,325	875,010	1,147,771	1,183,042
	概算人件費	14,801	20,489	15,415	15,415	16,232
	総事業費	823,903	860,814	890,425	1,163,186	1,199,274
事業費及び概算人件費の変動要因	私立幼稚園就園奨励費補助金の補助金の見直しがなされ、非課税世帯の補助限度額が増額したこと、また、私立幼稚園園児保護者補助金、無認可幼稚園(舎)園児保護者補助金の幼児一人当たりの補助金の額を増額したことなどの理由から、事業費が増となった。					

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	幼稚園への各種補助金等と幼稚園等に通園している家庭への各種補助金の交付(一部補助金は平成26年度よりも増額して交付)及び人材の派遣等により、教育環境の整備を展開することができたと考えるが、指標が目標値を達成できていないため、Bと判断した。	
	(前回評価結果)		
	B		
外部評価	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
	第4次川口市総合計画が平成27年度をもって終了することから、平成28年度からは、新たに策定した第5次川口市総合計画の施策体系に基づき、「健やかな子育て・子育て環境づくり」及び「子どもがのびのび学べる環境づくり」の施策において、各種取り組みを展開していく。		
	評価結果	B	
	(前回評価結果)	B	





# 施策No. 2

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

子どもたち一人一人に「生きる力」を育むため、教育内容の充実、健康教育と学校給食の充実、教育環境の整備・施設整備の充実、特別支援教育の充実、家庭・地域との連携に取り組み、子どもたち一人一人に「生きる力」を育む義務教育の充実を図る。

27年度における取り組みの内容	27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
子どもたちに生きる力を育むために、学力向上推進委員会、徳力向上推進委員会、体力向上推進委員会を通して学校への支援事業を進めた。また、特別支援教育や健康教育・学校給食の充実等に取り組んだ。	小学校にて、健康教育等において全国表彰を受ける学校が出た。また、特別支援学級の新設や学校給食の充実など一定の成果をあげることができた。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

学力向上については、27年度は指標の基礎学力調査が廃止となり、新たな学力・学習状況調査が実施されたが、その結果として県平均以下の項目が半数程度あったことから、各学校の児童生徒の課題に対して有効な手立てを講じる必要がある。また、体力テストでは目標値を若干下回ったことから、これを向上させるための計画的対応が必要である。

指標①	名称	基礎学力定着度(小学校)☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	県の基礎学力に関する調査(「読む・書く」と「計算」)の正答率(第6学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	96.6 達成	95.9 達成	96.7 達成	未実施	—	未実施	—	
指標②	名称	基礎学力定着度(中学校)☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	県の基礎学力に関する調査(「読む・書く」と「計算」)の正答率(第3学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	92.1 未達成	92.0 未達成	89.6 未達成	未実施	—	未実施	—	
指標③	名称	小中学校体力テスト結果☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全国平均を上回っている項目数÷全項目数×100(小中学校)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値・達成状況	52.8 達成	51.4 達成	56.3 達成	50.0 達成	達成	49.3 未達成		

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	3,008,042	3,549,861	3,291,434	3,776,088	4,081,454
	概算人件費	207,936	200,568	209,238	248,305	246,163
	総事業費	3,215,978	3,750,429	3,500,672	4,024,393	4,327,617

**事業費及び概算人件費の変動要因**

新規事業の増加、新学校給食センター運営費における委託費の増並びに小学校教科書改訂に伴う教師用の新教科書及び新指導書の購入などにより、事業費が増加した。

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由		
	B (前回評価結果)	取り組みの内容や成果に関しては例年同様であるものの、指標としている学力調査が廃止となり、新たな学力・学習状況調査が実施されたことから、今後とも新たな客観的データの分析による課題点の把握と、課題解決のための有効な手立ての確立が求められる。		
	B			
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
	「生きる力」を育むために、児童生徒の実態を把握し、課題を明らかにして、指導方法の工夫改善を促して教育内容の充実に努めるとともに、健康教育や特別支援教育の一層の推進を図る。			B
(前回評価結果)				
		A		

施策評価調書(2)

評価対象年度 27年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	28年度の 実施方向性
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120041	放課後子供教室推進事業	生涯学習課	15,047	16,371	16,416	拡充して実施
			5,810	6,723	6,642	
2120056	川口市PTA連合会補助金	生涯学習課	1,025	1,025	1,025	現状維持で実施
			0	0	0	
2120061	小学校・中学校教科書改訂(4年に1回)に伴う事業	指導課	3,503	1,840	76,548	現状維持で実施
			415	415	410	
2120071	専任講師配置事業	学務課	12,775	17,345	17,724	効率化して実施
			830	830	820	
2120082	大貫海浜学園事業	学務課	75,339	77,498	82,643	縮小して実施
			10,400	10,400	8,200	
2120092	水上少年自然の家事業	学務課	153,886	154,235	140,529	縮小して実施
			24,900	24,900	24,600	
2120102	教育パブリシティプラン事業	学務課	1,118	1,077	1,096	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,640	
2120112	新しい学校のシステムづくりプラン事業	学務課	25,222	25,247	26,340	拡充して実施
			7,802	7,802	7,708	
2120126	各種競技会全国・関東大会等派遣補助金	学務課	5,044	5,214	4,680	現状維持で実施
			415	415	410	
2120136	学校等災害見舞金	学務課	140	75	135	現状維持で実施
			0	0	0	
2120146	鼓笛隊活動助成金	学務課	1,290	1,320	1,350	現状維持で実施
			415	415	410	
2120156	部活動助成金	学務課	7,085	7,066	7,111	現状維持で実施
			398	398	393	
2120166	ブラスバンド活動助成金	学務課	7,150	7,350	7,450	現状維持で実施
			398	398	393	
2120176	記念事業費助成金	学務課	600	200	700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120181	特別支援教育支援員配置事業	指導課	55,752	56,077	55,645	拡充して実施
			2,490	2,490	2,460	
2120192	中学校理科教育振興費備品購入事業	指導課	5,036	5,039	4,832	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120202	コンピュータ教育環境整備事業	指導課	321,904	327,601	335,048	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2120222	学校教育研究支援事業	指導課	1,008	912	897	現状維持で実施
			830	830	820	
2120232	教育研修生事業	指導課	35	51	57	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120242	教育講演会事業	指導課	292	292	296	現状維持で実施
			0	0	0	
2120252	国際理解教育促進事業	指導課	73,756	69,755	71,606	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	

注) 事業名称の末尾に「\*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>指標としている学力調査が廃止となり、目標の達成状況がわからないため、評価は難しい。また、体力テストの結果も実績値が下がり、目標が未達成となっている。教育相談については需要も高いと思われることから、悩みを抱える児童・生徒をしっかりと支援できるような体制の整備に今後も引き続き努めて欲しい。</p>
-------------	--

施策評価調書(2)

評価対象年度 27年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	28年度の 実施方向性
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120262	川口こども造形展事業	指導課	409	460	408	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120272	小学校学習支援事業	指導課	2,755	2,045	2,035	現状維持で実施
			830	830	820	
2120282	中卒就職者壮行会事業	指導課	80	130	96	現状維持で実施
			830	830	820	
2120292	中学校学習支援事業	指導課	509	565	643	現状維持で実施
			830	830	820	
2120302	中学生英語弁論大会事業	指導課	69	127	63	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2120312	発明創意工夫展事業	指導課	38	8	0	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120322	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	指導課	221,679	228,903	229,768	現状維持で実施
			13,695	13,695	13,530	
2120332	学力向上支援事業	指導課	88	35	16	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120342	小学校障害児送迎事業	指導課	11,778	11,880	15,740	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120352	障害児学級合同作品展事業	指導課	325	327	243	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120362	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	指導課	7,661	6,249	7,368	現状維持で実施
			830	830	820	
2120372	障害児就学支援事業	指導課	435	665	559	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120382	きらり川口夢わーく社会体験事業	指導課	648	692	539	現状維持で実施
			830	830	820	
2120416	音楽鑑賞教室補助金	指導課	5,700	5,700	5,700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120426	各教科等授業研究会助成金	指導課	450	450	450	現状維持で実施
			0	0	0	
2120436	川口市教育研究会助成金	指導課	178	177	177	現状維持で実施
			0	0	0	
2120446	職業教室開催補助金	指導課	122	122	50	縮小して実施
			830	830	820	
2120456	川口市学校体育協会助成金	指導課	30	30	30	現状維持で実施
			0	0	0	
2120462	自動体外式除細動器管理事業	学校保健課	3,123	2,824	2,899	現状維持で実施
			830	830	820	
2120471	学校給食食器改善事業	学校保健課	73,341	5,839	5,970	現状維持で実施
			1,660	1,660	492	
2120482	学校保健普及啓発事業	学校保健課	2,281	2,249	2,011	現状維持で実施
			1,720	1,720	1,680	
2120492	学校給食指導研修事業	学校保健課	200	260	143	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,640	
2120516	心臓検診補助金	学校保健課	70	202	37	効率化して実施
			860	860	820	
2120526	川口市学校保健会補助金	学校保健課	1,200	1,100	1,100	現状維持で実施
			860	860	820	
2120563	(仮称)教育センター建設事業 *	指導課	0	0	0	休止
			0	0	0	

注)事業名の末尾に\*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。



# 施策No. 3

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実		
主担当	学校教育部	学務課	問い合わせ先	2507	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>地域発展の一翼を担い、地域の文化を支える人材を育成する教育活動を推進する。</p>
---

27年度における取り組みの内容	27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
<p>市立高校3校に各1人の就職カウンセラーを配置し、就職支援を行い、また、経済的な理由により修学が困難な生徒に対して奨学資金貸付事業を実施した。</p> <p>さらに、新市立高等学校の校舎棟建設が10月に着工をした。</p>	<p>経済的支援を行ったことにより多くの生徒に修学の機会を与えることができたこと、また、高校生活が充実したものとなるよう学習の支援とともにクラブ活動等への助成及び生徒一人一人にあった卒業後の進路の支援を行った。</p>

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>これまでの取り組みや支援の状況を踏まえ、可能な限り各事業を充実させる必要がある。また、新市立高等学校建設事業においては、慎重な資金計画が必要であるとともに、専門的な知見を得ながら効率化をしていく必要がある。</p>
--

指標①	名称	就職内定率				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	就職内定者÷就職希望者×100 過去の就職内定率の推移から100%を目標に就職支援を行っている。								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値・達成状況	100.0	達成	100.0	達成	100.0	達成	98.0	未達成	94.9
指標②	名称	大学進学率				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	市立3高校(全日制)における 大学・短期大学の進学者数÷在籍者数×100								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0				
	実績値・達成状況	64.2	達成	63.5	達成	61.4	達成	57.2	未達成	61.4
指標③	名称	奨学資金貸付人数				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	奨学資金貸付人数+入学一時金貸付人数 貸付人数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	587.0	631.0	600.0	546.0	485.0				
	実績値・達成状況	587.0	達成	631.0	達成	600.0	達成	546.0	達成	485.0

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	230,751	251,269	250,008	235,834	441,786
	概算人件費	8,170	8,251	41,451	58,051	65,552
	総事業費	238,921	259,520	291,459	293,885	507,338

事業費及び概算人件費の変動要因	<p>奨学資金貸付において、市直接の貸し出しを金融機関からの融資へと見直したことにより、事業費が減額したものの、新市立高校建設事業の進捗に伴い、事業費及び人件費が大きく増になり、総事業費も増加している。</p>
-----------------	---

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	<p>奨学資金貸付事業及び進学率においては、目標値を達成しているものの、就職率が前年度から低下し目標値に達していなかったことからB評価としたもの。</p>	
	(前回評価結果)		
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
<p>財政状況を勘案しながら、可能な限り各事業の充実を図っていくとともに、目標を達成できるよう就職内定率及び大学進学率が向上するよう努めていく。</p>		A	
		(前回評価結果)	
		A	



# 施策No. 4

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**  
 生きる力を育むためには、学校の教育力の向上を図ることが大切である。そこで、海外派遣や市内施設を活用した特色ある教育活動の充実を図る。また、教職員の資質・指導力の向上を図るための職員研修の充実を図るとともに児童生徒の不登校やいじめに対応するため教育相談の充実を図る。

<b>27年度における取り組みの内容</b>	<b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b>
特色ある教育活動の充実をめざして、海外派遣事業、校外学習、学校ファームなど児童・生徒に魅力ある事業を提供した。また、学校経営、教科指導、生徒指導など様々な分野の研修や教育相談の充実を図った。	本市の特色ある教育活動の推進や、教員の能力を高める教員研修の充実、その他、児童生徒の学習意欲や興味を喚起する事業など教育力の向上に寄与しているものと考えられる。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**  
 教員の資質向上のための継続した研修プログラムの充実・改善が必要である。また、いじめ、不登校、非行などの課題解決のため、引き続き教育相談等の体制整備や各分野の研究が必須である。さらに、本市独自の特色ある教育活動を進めるため、児童生徒の学習意欲や興味を喚起する魅力ある事業研究が必要となる。

指標①	名称	不登校率(小学校)				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	全児童数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	0.31	0.31	0.30	0.30	0.30				
	実績値・達成状況	0.30	達成	0.34	未達成	0.24	達成	0.24	達成	0.19
指標②	名称	不登校率(中学校)				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	全生徒数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	3.60	3.40	3.30	3.20	3.20				
	実績値・達成状況	3.59	達成	3.80	未達成	3.25	達成	2.90	達成	2.83
指標③	名称	教員研修満足度				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	教職員研修における満足度調査においてアンケート調査を実施し、「概ねよい」以上の評価を得た割合(H23年度より実施)								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00				
	実績値・達成状況	96.5	達成	96.6	達成	96.3	達成	97.8	達成	97.8

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	154,649	156,574	157,103	155,010	153,780
	概算人件費	67,080	62,931	62,931	62,931	62,173
	総事業費	221,729	219,505	220,034	217,941	215,953
事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について費用の見直しを行っているほか、事業実施コスト等の変動による。					

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	特色ある教育活動の充実、教職員研修の充実、教育相談の充実のための各事業についてそれぞれ一定の成果が見られた。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
各学校における課題を明らかにし、指導方法や教材の工夫改善を研究し、学校の特色に応じた教育力の向上に取り組む。		A	
		(前回評価結果)	
		A	



施策評価調書(2)

評価対象年度 27年度

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	28年度の 実施方向性
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2140012	通学区自由化プラン事業	学務課	2,956	2,936	3,057	現状維持で実施
			13,280	13,280	13,120	
2140026	学校サポートプラン交付金	指導課	8,648	8,456	6,948	現状維持で実施
			4,831	4,831	4,773	
2140035	中学生海外派遣補助事業	指導課	6,626	6,498	6,320	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140045	高校生海外派遣補助事業	指導課	8,682	8,442	7,964	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140052	ジュニア議会事業	指導課	153	158	155	完了
			830	830	820	
2140062	校外学習事業	指導課	28,027	29,912	32,256	縮小して実施
			4,150	4,150	4,100	
2140072	学校ファーム推進事業	指導課	897	776	691	現状維持で実施
			830	830	820	
2140082	その他教育研修事業	指導課	447	404	427	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140092	課題研究事業	指導課	15	99	66	現状維持で実施
			830	830	820	
2140102	学校経営研修事業	指導課	277	261	258	現状維持で実施
			830	830	820	
2140112	情報基礎教員研修事業	指導課	63	76	97	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140132	教育相談支援員活用事業	指導課	44,816	44,778	44,060	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140142	教育カウンセラー活用事業	指導課	17,747	14,641	13,621	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140152	教育相談員活用事業	指導課	34,489	34,322	34,490	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,200	
2140162	不登校児童生徒適応支援事業	指導課	839	779	804	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2140172	日本語補充教室事業	指導課	403	419	475	現状維持で実施
			830	830	820	
2140182	訪問相談員活用事業	指導課	608	643	681	現状維持で実施
			830	830	820	
2140196	文化交流使節団派遣事業交付金	指導課	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			0	0	0	
2140206	非行防止対策協議会補助金	指導課	60	60	60	現状維持で実施
			0	0	0	

注) 事業名称の末尾に「\*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>指標はすべて目標を達成しており、十分に良い施策を展開している。不登校児童・生徒への対策にも力を入れており、以前と比べ改善傾向にある点が非常に高く評価できる。なお、通学区自由化プラン事業については、学区選択制の課題と教室数の確保という両面を鑑みて、今後も事業の充実に努めて欲しい。</p>
-------------	--

# 施策No. 5

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	215	施策名称	2章1節 学校教育施設の耐震化の推進		
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先	2454	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

学校教育施設は、地震発生時において児童生徒の安全を確保することはもとより、地域住民の一時的な避難場所ともなることから、平成7年6月16日に制定された地震防災対策特別措置法に基づき、耐震化の推進を図るもの。

<b>27年度における取り組みの内容</b>	<b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b>
【神根小学校】改築工事、太陽光発電設備設置工事ほか 【幸町小学校、前川小学校、安行中学校、幸並中学校】解体・改築工事ほか 【十二月田中学校】解体工事ほか 【旧芝東小学校】解体工事 【南中学校、北中学校、幸並中学校、岸川中学校、安行東中学校】武道場等天井等落下防止対策工事	神根小学校新校舎完成及び幸町小学校、前川小学校、安行中学校、幸並中学校建替工事開始に伴い、目標値97.4%を達成。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

学校施設の耐震化は一時的に多大な財政支出を要するため、財政状況を勘案しながら、国庫補助金等を効果的に活用し、耐震化を進める必要がある。

指標①	名称	小・中学校耐震化整備事業				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震化棟数÷学校施設総数×100 小・中学校耐震化整備計画事業							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	80.4	92.9	96.6	97.0	97.4			
	実績値・達成状況	82.0 達成	93.2 達成	96.6 達成	97.0 達成	97.4 達成			
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値					-			
	実績値・達成状況					-			
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値					-			
	実績値・達成状況					-			

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
\* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「-」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	1,740,539	2,848,048	1,117,056	1,394,667	3,424,546
	概算人件費	9,030	9,545	3,154	19,422	18,614
	総事業費	1,749,569	2,857,593	1,120,210	1,414,089	3,443,160

**事業費及び概算人件費の変動要因** 小中学校耐震補強計画及び教育施設整備計画に基づき実施

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	小・中学校耐震化整備計画に基づき、27年度の目標値を達成したため。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
財政状況を勘案したうえで、計画に基づき残りの耐震化を進めるよう努める。			A
			(前回評価結果)
		A	



# 施策No. 6

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

市民が地域社会で生涯にわたり、学び続け、生きがいつくり、自己実現を可能にすること。

<b>27年度における取り組みの内容</b>	<b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b>
公民館は地域に密着した社会教育施設として整備し、地域住民の学習支援と自主的に活動している社会教育関係団体等の育成・支援をした。図書館は、市全域を対象とし、誰もが気軽に利用できる生涯学習施設として、機能の充実を図った。	公民館の講座参加者数は増加し、また、施設の安全性の確保も計画的に進めることができた。 図書館は、計画的な資料の収集・保存に努め、市民の要求に対し、的確に資料・情報を提供することができた。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

公民館は、利用者が固定化する傾向がある。また、老朽化している施設・機器については、計画的に補修等を進める。図書館は、図書館資料の精選と充実を図ることが課題である。

指標①	名称	公民館・専門施設の講座参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	公民館・専門施設の講座参加者数を合計したもの 第4次川口市総合計画の目標指標							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	263,000	261,000	268,000	269,000	280,000			
	実績値・達成状況	256,629 未達成	277,967 達成	259,297 未達成	256,756 未達成	268,489 未達成			
指標②	名称	図書館資料貸出数(定置館分)☆				単位	点	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	図書館資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標指標より移動図書館及び文庫分を除いたもの							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3,300,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,740,000			
	実績値・達成状況	3,144,163 未達成	3,314,980 達成	3,232,051 未達成	3,183,692 未達成	3,194,270 未達成			
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況					-			

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。

\* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	667,768	772,473	764,714	813,008	1,229,684
	概算人件費	330,494	317,950	283,340	302,406	290,042
	総事業費	998,262	1,090,423	1,048,054	1,115,414	1,519,726

事業費及び概算人件費の変動要因 施設建替え工事の増加や、事務量の見直しのため

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B (前回評価結果)	公民館・専門施設の講座参加者数は、増加傾向にあるが、目標値に未達成のため今後も多様な講座を行い講座参加者数の増加を図ることとする。図書館については、貸し出し数が昨年より増加し、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	B		

総合評価	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	
	市民の生涯学習活動を推進するため、多様な学習機会の提供と社会教育施設の整備、機能の充実を図る。	
	外部評価	評価結果 B (前回評価結果) B

施策評価調書(2)

評価対象年度 27年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	28年度の 実施方向性
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2310022	施設予約システム事業	生涯学習課	0	0	0	現状維持で実施
			2,490	4,980	4,920	
2310042	公民館施設運営事業	生涯学習課	168,480	169,884	176,932	現状維持で実施
			6,142	7,719	7,626	
2310052	婦人会館施設運営事業	生涯学習課	489	589	555	現状維持で実施
			11,850	10,690	1,920	
2310062	青少年会館施設運営事業	生涯学習課	284	464	443	効率化して実施
			11,850	10,690	19,200	
2310072	文化会館施設運営事業	生涯学習課	771	652	765	現状維持で実施
			15,480	10,150	3,736	
2310082	中央ふれあい館施設運営事業	生涯学習課	1,398	1,227	1,201	現状維持で実施
			13,740	15,360	16,320	
2310152	図書館施設運営事業	中央図書館	440,354	449,045	435,290	現状維持で実施
			213,570	219,660	224,840	
2310223	アスベスト対策事業(横曽根図書館)*	中央図書館	0	0	0	休止
			0	0	0	
2310301	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	中央図書館	118,680	123,557	120,325	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2310341	プラネタリウム改修事業	科学館	25,669	24,361	24,361	現状維持で実施
			2,408	0	0	
2310353	栄町公民館((仮称)幸栄公民館)建替事業	生涯学習課	-	0	414,471	現状維持で実施
			-	0	0	
2310363	社会教育施設耐震補強事業*	生涯学習課	1,890	36,461	0	休止
			0	9,877	0	
2310373	上青木公民館改築事業	生涯学習課	-	2,720	39,018	現状維持で実施
			-	3,237	3,198	
2310383	芝南公民館改築事業	生涯学習課	-	1,802	16,323	現状維持で実施
			-	4,233	4,182	

注)事業名称の末尾に「\*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

補足	指標②「図書館資料貸出数(定置館分)」と施策コード232、施策名称「2章3節 生涯学習事業の充実」に記載されている、指標②「図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)」を合算したものが第4次川口市総合計画に記載されている図書館資料貸出数となる。
外部評価委員のコメント	指標において目標が未達成である。しかし、目標値が高過ぎる点も未達成となる要因の一つと思われるので、今後は現状を踏まえた上で長期的な目標値を設定することを期待する。また、課題である利用者の固定化傾向を改善するのは難しい状況ではあるが、市民大学の講座数やその内容を検討するなど、より多くの人に利用してもらえるよう周知の方法などを工夫して欲しい。

# 施策No. 7

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**  
 市民一人ひとりが主体的に学ぶ「ふれあって 学ぶ生涯 人づくり」を本市のキャッチフレーズとし、自発的、主体的にいつでも学べる多種多様な講座、さらに専門性の高い分野や現代的課題等の学習機会の提供に努め、市民一人ひとりが正しい知識と技術を身につけることを目的としている。また、近くに図書館がない市民にもサービスの提供を図るとともに、子どもたちには、発達段階に応じたおはなし会を開催するなど、多様な方々に学習の機会を提供する。

<b>27年度における取り組みの内容</b>	<b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b>
川口市民大学は、市内外の高等教育機関や社会教育施設と協力し、一般教養や専門的知識を学ぶ講座のほか、技能を高める講座や現代的課題等を取りあげる講座を開催した。図書館は、移動図書館の巡回や文庫運営事業を行うとともに、おはなし会などを開催した。補足へ	市民大学は、高等教育機関や市内外の社会教育施設と連携し、共催することにより、大学教授や講師等による質の高い講座が開催できた。図書館は、なかなか図書館に来られない市民に身近なサービスを提供できた。おはなし会等主催事業も好評である。科学館は、テーマが異なる特別展ごとに、新たな利用者を獲得できた。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**  
 「自発的、自主的にいつでも誰もが」という生涯学習の基本理念を基に、個人の学習成果を地域社会に活かせる環境づくりや、支援体制を充実させ、市民の知的欲求に応えることが今後の課題になっている。科学館は、利用者ニーズに十分に比べられる施設として機能充実を図るために、老朽化してきている展示装置を更新していく必要がある

指標①	名称	川口市民大学事業参加率				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	定員に対する応募者数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値・達成状況	120.3	達成	104.4	達成	97.7	未達成	115.0	達成	148.8
指標②	名称	図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)☆				単位	点	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	移動図書館及び文庫の資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標より定置館分を除いたもの								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	90,000	100,000	110,000	110,000	120,000				
	実績値・達成状況	90,652	達成	124,149	達成	122,611	達成	131,572	達成	147,348
指標③	名称	科学館内事業参加者数				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	サイエンスショー見学者・わくわくワーク参加者・どきどきサイエンス・夏休み科学教室・サイエンスクラブ参加者数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	20,200	20,200	20,200	20,200	20,200				
	実績値・達成状況	25,077	達成	26,496	達成	25,645	達成	28,579	達成	29,636

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	74,617	76,709	80,938	73,160	70,214
	概算人件費	88,644	91,819	93,632	97,280	99,386
	総事業費	163,261	168,528	174,570	170,440	169,600
事業費及び概算人件費の変動要因	経費節減により事業費が減少した。					

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	指標は達成されており、子どもから大人まで多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	市民に多様な学習機会を提供するため、若い世代に目を向けた事業を展開するなど、幅広い世代に向けたサービスの提供を図る。図書館は移動図書館・文庫の資料の充実を図り、市民の知的欲求に応える。また、主催事業の充実を図りPRに努める。科学館は、利用者ニーズに十分に比べられる施設として機能充実を図るために、老朽化してきている展示装置を更新していく必要がある。		
外部評価	評価結果	A	
	(前回評価結果)	A	
	評価結果	A	



# 施策No. 8

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

市民が、公民館を利用した相互学習の成果発表や、また、公民館や図書館で実施する各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に活かし、お互いの生きがいがいづくりに繋げていくことを目的としている。

27年度における取り組みの内容	27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
生涯学習社会の中で、市民が公民館や図書館等の社会教育施設を活用して、各種講座で身につけた知識や技術を地域社会等へ提供した。また、相互学習の成果発表を通じて他の人々の学習意欲を高めた。	公民館は、各種講座で取得した知識や技術を人材バンクに登録し地域への貢献活動により、お互いの生きがいがいづくりに繋がった。 補足へ

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

市民に対して限りある財源の中で活動を支援するには、内容が充実した事業の展開の他に、自己の生活の向上や、職業上の能力の向上、自己の充実に結びつく事業の実施が必要である。

指標①	名称	人材バンク魅学登録者数				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	年度ごとの登録者数 過去3年間の登録者数の平均値を目標値とした。								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0				
	実績値・達成状況	202.0	達成	193.0	未達成	210.0	達成	232.0	達成	205.0
指標②	名称	公民館地区文化祭参加者数				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	各公民館地区文化祭の参加人数 過去5年間の実績を参考に目標値を算定した。								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	40,000	45,000	45,000	45,000	45,000				
	実績値・達成状況	43,237	達成	51,135	達成	45,115	達成	46,911	達成	46,351
指標③	名称	ボランティア研修会参加者数				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	読み聞かせボランティア講座・音訳研修会・点訳研修会の延べ参加人数の合計。過去3年間の実績を参考に目標値を算定した。								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	600.0	700.0	700.0	700.0	800.0				
	実績値・達成状況	676.0	達成	797.0	達成	736.0	達成	739.0	達成	749.0

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
\* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	3,898	4,370	4,109	4,326	4,192
	概算人件費	9,460	9,130	9,130	9,130	8,610
	総事業費	13,358	13,500	13,239	13,456	12,802
事業費及び概算人件費の変動要因	施設長等が講師を努めたため、事業費の削減が図られた。					

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	指標はほぼ達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
今後も、多くの市民の生涯学習活動を支援し、地域の教育力の向上や自己の充実が図られる事業を実施していく。 また、ボランティア研修会については、定期的な養成講座とその後のフォローアップ講座などを継続的に行い、生涯学習社会を見据えた取り組みを充実させる。			A
			(前回評価結果)
			A





# 施策No. 9

## 施策評価調書(1)

評価対象年度	27年度
--------	------

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

<p><b>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</b></p> <p>市民の健康志向が益々高まりを見せている中、より多くの方がスポーツ・レクリエーション活動事業に参加する機会を増やすため、各種スポーツ団体の活動を支援し、組織の充実を図るもの。また、生涯にわたって親しむスポーツの普及のため、スポーツ・レクリエーション指導者の育成・充実を図ることを目的とするもの。</p>
---

<p><b>27年度における取り組みの内容</b></p> <p>川口市内を活動拠点とする市民団体、(公財)川口市体育協会に加盟している団体に対して、レクリエーションの普及啓発事業、競技選手の育成事業に関する事業を支援することにより、団体の活性化を図った。</p>	<p><b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b></p> <p>スポーツ・レクリエーションの各事業に多くの方が参加できるよう各種広報を展開するなどの情報提供に努め、年々参加者数が増加していることからスポーツ・レクリエーション活動の推進に寄与したものの。</p>
--	---

<p><b>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</b></p> <p>日常生活の中でスポーツを楽しむことが容易になってきたようだが、より参加しやすい内容への改善や多様化するニーズに対応できるスポーツ活動の環境を整える必要がある。</p>
---

指標①	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計 前年度実績値によるもの(ただし、種目により増加が見込めるものは前年度の1割)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	54,944	55,358	56,022	56,694	57,400			
	実績値・達成状況	55,034 達成	55,407 達成	56,479 達成	59,173 達成	57,105 未達成			
指標②	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計/当初見込参加者数×100 最大参加率							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	97.0	97.0	98.0	99.0	100.0			
	実績値・達成状況	97.0 達成	97.0 達成	98.3 達成	103.0 達成	99.5 未達成			
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況					-			

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	145,362	157,594	192,211	156,204	182,258
	概算人件費	75,794	74,007	74,007	74,457	74,426
	総事業費	221,156	231,601	266,218	230,661	256,684

事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。
-----------------	-------------------------------

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B (前回評価結果)	川口市の世代間交流や体力づくりへの意欲向上となる機会を提供し、多くの方に参加を通じ、スポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただくことが事業の趣旨と考え評価したものである。	
	A		

外部評価	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	
	更なる各種の広報活動を行い多くの方にスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただけるよう検証・研究し、継続して生涯スポーツの普及や市民スポーツの推進に努めていくものである。また、競技スポーツにおいても支援を行っていく。	
	評価結果	A

施策評価調書(2)

評価対象年度 27年度

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援
-------	-----	------	-------------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	28年度の 実施方向性
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2410012	流水プール場・アイススケート場運営事業	グリーンセンター	98,549	63,520	59,874	現状維持で実施
			9,350	9,800	9,800	
2410022	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	スポーツ課	1,690	1,677	1,987	現状維持で実施
			830	830	820	
2410032	各種体育大会開催事業	スポーツ課	359	389	274	現状維持で実施
			166	166	166	
2410042	川口市体育三賞事業	スポーツ課	284	398	361	現状維持で実施
			2,241	2,241	2,241	
2410052	市民選手権大会事業	スポーツ課	5,671	5,971	5,206	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,300	
2410062	川口マラソン大会事業	スポーツ課	13,777	13,777	12,757	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,300	
2410072	都市交歓スポーツ大会事業	スポーツ課	5,656	6,006	5,885	現状維持で実施
			830	830	830	
2410092	市民体育祭事業	スポーツ課	830	768	1,663	現状維持で実施
			3,320	3,320	3,320	
2410102	スポーツ教室開催事業	スポーツ課	1,360	1,042	1,156	現状維持で実施
			20,750	20,750	20,750	
2410122	スポーツ推進委員事業	スポーツ課	13,303	11,796	12,484	現状維持で実施
			4,980	4,980	4,980	
2410136	学校体育奨励交付金	スポーツ課	2,158	2,073	2,323	現状維持で実施
			830	830	830	
2410146	体育協会事業交付金	スポーツ課	24,997	24,997	53,844	現状維持で実施
			3,320	3,320	3,320	
2410156	レクリエーション協会事業交付金	スポーツ課	2,800	2,800	3,878	現状維持で実施
			830	830	830	
2410166	スポーツ少年団事業交付金	スポーツ課	1,249	1,200	1,200	現状維持で実施
			830	830	830	
2410176	社会体育奨励交付金	スポーツ課	13,135	12,771	12,771	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2410186	県代表選手派遣交付金	スポーツ課	2,900	3,116	2,612	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,469	
2410196	スポーツレクリエーション傷害見舞金	スポーツ課	173	113	83	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2410206	ツアーデーマーチ実行委員会交付金	スポーツ課	2,000	1,900	1,700	現状維持で実施
			830	830	830	
2410216	スポーツ推進委員協議会事業交付金	スポーツ課	1,320	1,890	2,200	現状維持で実施
			830	830	830	

注) 事業名称の末尾に「\*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>指標は、大会数の減少もあり、平成26年度の実績値より下がっているものの、高い実績値で目標をほぼ達成している。なわとび大会やツアーデーマーチなど、地域に根付いたイベントや大会があり、スポーツ活動の充実に大いに貢献している。</p>
-------------	---

# 施策No. 10

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

本市は、伝統的にスポーツが盛んで多くのスポーツ団体が設立され、さらに市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識も高まっており、そのニーズのひとつである施設整備の充実を図るとともに、市民スポーツの活性化を促進し、健康・体力づくりやスポーツ人口の拡大を図るもの。

27年度における取り組みの内容	27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
指定管理者制度を導入している青木町公園総合運動場・体育武道センター及び戸塚スポーツセンターにおいては、引き続き民間ノウハウの活用で施設の有意義な管理運営に努めた。また、施設整備においては、耐震化事業を計画的に進め、安心・安全な施設の管理運営に努めた。	地域コミュニティの拠点施設としての運営ができ、専門的分野のスポーツの推進に貢献した。また、耐震診断事業では、施設の安全確保を計画的に進めることができた。他の施設においても安心・安全な施設の管理運営に必要な修繕を行ったことにより、施設の不備等による事故は無かった。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

指定管理者においては、市民の健康・体力づくりやスポーツに対する需要に応える質の高い市民サービスをどのように展開していくかが課題である。経年劣化が進んで、施設の整備、改修及び設備機器の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。予算の範囲で安心・安全な管理運営を行っていく。

指標①	名称	スポーツ施設の利用稼働率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	利用単位数/利用可能単位数×100							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	63.3	66.0	67.0	67.5	68.0			
	実績値・達成状況	65.1	達成	66.3	達成	67.0	達成	67.5	未達成
指標②	名称	耐震診断施設数				単位	施設	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震診断実施済み施設数の累計(新耐震基準適合施設含む)/耐震診断対象施設(13施設)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	7.0	7.0	10.0	12.0	13.0			
	実績値・達成状況	7.0	達成	7.0	達成	10.0	達成	12.0	未達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	1,043,254	1,069,507	1,035,431	1,066,537	1,151,146
	概算人件費	96,880	93,940	95,185	95,185	97,220
	総事業費	1,140,134	1,163,447	1,130,616	1,161,722	1,248,366

**事業費及び概算人件費の変動要因** 事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	スポーツを通して体力づくりや仲間づくりをしたいという市民ニーズは増加傾向にあり、今後も安全で快適なスポーツ活動の場を整備していく必要がある。平日の夜間や土・日・祝日の利用が抽選になっていることなどから、施設への利用状況は全体的に高いものと言える。多くの市民が体力づくりに活発になってきている。	
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
	安心・安全な施設の管理運営を継続的に行い、多くの利用者がスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう環境づくりをするものである。		外部評価
			評価結果
			A
			(前回評価結果)
			A



# 施策No. 1 1

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

<p><b>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</b></p> <p>総合文化センターやアートギャラリーなどを文化振興の拠点としての役割を担う中核施設として位置づけ、市民に優れた文化芸術に触れる機会や創作体験の場を提供するとともに、文化芸術を担う人材の発掘・育成や文化ネットワークの構築を図ることにより、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の創出を目指す。</p>
--

<p><b>27年度における取り組みの内容</b></p> <p>文化三賞の顕彰や、文化活動に対する助成制度、文化団体への補助事業などにより文化芸術活動を担う人材の育成を促進した。また、美術展、ピアノコンクール、文化祭などの実施や市民コンサートやリアでのいけばな展覧会などを実施した。</p>	<p><b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b></p> <p>市内の文化芸術活動を担う人材の発掘や育成を促進し、文化芸術ネットワークの構築を図った。また、市民に対し各種文化芸術事業の鑑賞や創作体験の機会を提供したことで、文化芸術の振興に寄与することが出来た。</p>
--	---

<p><b>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</b></p> <p>市内の各種文化団体会員の高齢化が徐々にではあるが進んでおり、今後団体が行う文化芸術活動などによる地域の活性化や各種文化芸術の継承等に関して影響が出ることが予想される。</p>
---

指標①	名称	文化芸術活動を担う人材の登録者数☆				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	文化団体のほか、市内を拠点として文化芸術活動を行っている人材の登録者数 毎年度30人程度の増加を見込む。								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	710.0	740.0	770.0	800.0	800.0				
	実績値・達成状況	759.0	達成	822.0	達成	853.0	達成	864.0	達成	891.0
指標②	名称	鑑賞者の満足度				単位	%	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	各事業の来場者にアンケートを取り、満足度を尋ねる。満足と回答とした来場者の割合。(平成24年度から実施)								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値・達成状況		95.1	未達成	90.2	未達成	86.6	未達成	84.9	未達成
指標③	名称					単位		指標の種別		
	指標の説明・算定式									
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値									
	実績値・達成状況					-				

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。

\* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	18,054	21,727	19,898	19,510	17,160
	概算人件費	32,680	32,204	22,161	25,232	24,198
	総事業費	50,734	53,931	42,059	44,742	41,358

事業費及び概算人件費の変動要因	活力ある地域づくり助成金等を実施しなかったこと等による事業費の減少。また、職員体制や業務の見直しによる概算人権費の減少。
-----------------	--

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	文化団体連合会、美術家協会、市民音楽協会等の団体の高齢化は依然として進行してはいるが、各団体において若手の活躍も見られるようになってきている。また、鑑賞者の満足度調査の結果に関しても目標としていた100%を超える割合には満たなかったが80%以上の人から満足との回答を得ることが出来たため。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
外部評価	評価結果	B	
	(前回評価結果)		
		A	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度 27年度

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	28年度の 実施方向性
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2510012	芸術賞賞賜事業	文化推進室	432	712	726	現状維持で実施
			2,075	2,905	3,678	
2510022	文化振興基金活用事業	文化推進室	1,288	767	343	拡充して実施
			2,324	2,490	2,378	
2510032	市民コンサート事業	文化推進室	280	579	642	効率化して実施
			2,324	2,324	2,542	
2510042	文化芸術鑑賞事業	文化推進室	149	393	720	拡充して実施
			3,320	2,241	2,296	
2510096	初午太鼓コンクール交付金	文化推進室	1,260	1,260	1,260	現状維持で実施
			415	415	415	
2510106	文化祭実行委員会交付金	文化推進室	3,540	3,440	3,440	現状維持で実施
			2,490	2,905	2,624	
2510116	美術展実行委員会交付金	文化推進室	2,430	2,430	2,430	拡充して実施
			2,490	2,905	2,952	
2510126	青少年ピアノコンクール実行委員会交付金	文化推進室	3,180	3,180	3,180	拡充して実施
			2,490	2,905	2,952	
2510136	川口市文化団体連合会補助金	文化推進室	189	189	189	現状維持で実施
			415	415	415	
2510146	川口市民音楽協会補助金	文化推進室	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			415	415	415	
2510156	かわぐち音楽の日実行委員会交付金	文化推進室	2,800	2,800	2,700	現状維持で実施
			415	415	415	
2510166	地域の芸術環境づくり助成事業	文化推進室	3,000	2,100	0	縮小して実施
			1,494	747	984	
2510192	旧芝園中学校アトリエ利用事業	文化推進室	0	180	180	現状維持で実施
			1,494	2,075	2,132	
2510201	伊奈半十郎忠治像建立事業*	文化推進室	-	130	-	拡充して実施
			-	2,075	-	

注) 事業名称の末尾に「\*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部 評価 委員 の コ メ ン ト	<p>指標の「鑑賞者の満足度」において、すべての人に満足してもらうことは難しいものの、実績値が年々下がってきているので、内容・場所等が固定化しないよう市民のニーズを把握しながら、さらなる充実を図って欲しい。また、今後は、若い世代にも広く周知し、参加しやすいものになるよう工夫することで、より充実した施策になることを期待する。</p>
---	--

# 施策No. 1 2

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	252	施策名称	2章5節 文化施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

本市の文化芸術の発信基地である総合文化センターとアートギャラリーの中核施設をハード・ソフトの両面から整備・充実し、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供すると共に市民の幅広い文化芸術活動の活性化を図る。

<b>27年度における取り組みの内容</b>	<b>27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</b>
魅力ある文化芸術の鑑賞事業や創作体験の場を提供するため、総合文化センターでの芸術鑑賞事業のほか、アートギャラリーでの企画展やワークショップの実施のほか、地域コミュニティを促進するための「かわぐち音楽の日」などの事業を行った。また、総合文化センターの自動感知システムの改修を実施した。	総合文化センターにおいては、様々なジャンルの事業を実施し、アートギャラリーにおいても春・夏・秋の企画展、アーティスト・イン・スクールの実施発表、アートな年賀状展、新鋭作家展等を実施することが出来た。また、貸館事業に関しても総合文化センター、アートギャラリーともに、多くの方々に利用していただくことが出来た。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

総合文化センターは開館より20年以上経過し、施設の改修に多額の費用を必要とする時期を迎えており、ハード面の充実をどのように図っていくかが課題である。また、アートギャラリーについては開館から10年が経過し、更なる内容の充実を図るために既存の事業を再検討する必要があると思われる。

指標①	名称	総合文化センターの利用率☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	総合文化センター(メインホール、音楽ホール、展示ホール、催し広場)の利用率 リアの利用率を毎年1.0%引き上げる。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	84.0			
	実績値・達成状況	78.1 未達成	77.3 未達成	75.9 未達成	77.9 未達成	78.4 未達成	78.4 未達成		
指標②	名称	アートギャラリーの利用率☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	アートギャラリー(展示室A・B、スタジオ)の利用率 アートギャラリーの利用率を毎年1.0%引き上げる。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0			
	実績値・達成状況	92.3 達成	91.2 達成	96.5 達成	96.5 達成	98.3 達成	98.3 達成		
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況					-			

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「-」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	492,712	491,365	528,037	552,305	582,270
	概算人件費	27,950	27,275	20,418	20,754	21,402
	総事業費	520,662	518,640	548,455	573,059	603,672

**事業費及び概算人件費の変動要因**

企画展の展示に係る委託料が増加したため。

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	アートギャラリーについては「川口の匠vol.5 信頼をつなぐ」などものづくりの街・川口を市内はもとより市外、県外の方々に発信できた展覧会を行うなど、指標の目標値を上回ったため。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
今後も、アートギャラリーの事業の周知、来場促進のための広報活動の強化に努めるなど、工夫して取り組んでいく。			A
			(前回評価結果)
		A	





# 施策No. 13

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	2222421	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

貴重な文化財や伝統文化、さらには文化的・歴史的資料の保存・活用に努めるとともに、市民に情報を提供することにより、地域に根ざした市民文化を振興し、市民が郷土の歴史と文化に対して誇りと愛着をもてる地域社会の実現を目指す。

27年度における取り組みの内容	27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
文化財に関する調査や事業の情報を市民に提供するための報告会や講演会、市民が興味引かれる展示会等を開催し、また、文化財活用事業として、文化財所有者の協力も得ながら、社会科見学、歴史教室等の学校支援事業を実施した。一方、補助金や交付金を通して、指定文化財の維持管理の支援を行った。	来館者を増加させ、今まで以上に報告会・展示会等を通して、文化財の保護活用に関する様々な調査や事業に関する情報を市民にいち早く提供することができ、小学校・中学校の授業の支援を行うことで、児童・生徒の文化財愛護の精神を養うことができた。また、補助金・交付金を通して、指定文化財の保護につなげることができた。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

本市の貴重な歴史遺産である「赤山城跡」を保存し次世代へと継承するためには、赤山城跡保存整備事業の推進は必要であるが、用地取得を含め多額の費用を要する。また、インターネット等の媒体を通して指定文化財や見学ルートを紹介するなど、市民が文化財の魅力を知り、より身近に感じられる存在となるよう情報提供に努める必要がある。

指標①	名称	文化財調査報告会開催事業				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	報告会の参加者人数 募集人数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0				
	実績値・達成状況	72.0	達成	64.0	達成	38.0	未達成	66.0	達成	68.0
指標②	名称	赤山城跡保存整備事業				単位	m <sup>2</sup>	指標の種別	活動	
	指標の説明・算定式	赤山城跡保存整備事業用地の購入面積(25、27年度は休止)								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	638.1	1040.7	0.0	1190.3	0.0				
	実績値・達成状況	638.1	達成	1040.7	達成	0.0		1489.9	達成	0.0
指標③	名称	指定文化財補助金および交付金				単位	件	指標の種別	活動	
	指標の説明・算定式	指定文化財の維持管理に係る補助金および交付金の件数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	52.0	81.0	81.0	86.0	86.0				
	実績値・達成状況	52.0	達成	78.0	未達成	82.0	達成	84.0	未達成	84.0

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	46,471	50,193	20,121	113,466	8,246
	概算人件費	9,761	10,084	6,930	10,096	6,915
	総事業費	56,232	60,277	27,051	123,562	15,161
事業費及び概算人件費の変動要因	赤山城跡用地購入費や補助事業により、変動がある。					

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	文化財調査報告会については、平成27年度は魅力あるテーマの講演を実施し参加者の増加を図った。企画展の内容を充実させ、来館者の増加を図った。	
	(前回評価結果)	指定文化財補助金については維持管理のための交付金を辞退した団体が2団体あったため、未達成となった。	
	A	文化財など地域の歴史遺産や伝統文化の保存と継承には、中・長期的な観点から取り組みを計画的に実施することが必要である。また近年、文化財保護行政は関連部局との連携が要求されるようになってきたことから、本市における魅力ある文化財を保護していくためにも、これに対応できるよう多方面から事業を検討する必要がある。	
	外部評価	評価結果	
	A		
	(前回評価結果)		
	A		



# 施策No. 1 4

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 27年度

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	2523587	

**施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)**

古文書等の史料調査、収集、保管、管理を行うとともに、データベース化を図り、また、史料の解説を行い活字化を進めることで、市民の利活用に供することを目的とする。

27年度における取り組みの内容	27年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
市史編さん事業及び収集調査により、所蔵(寄贈・寄託)した資料の中から古文書の解説作業を実施するとともに、解説作業を体験学習する講座の実施、資料のデータベース化の推進を図る。	古文書解説による刊行物への準備及び人材の育成と活用を目的に講座の実施。収蔵資料をデータベース化することで、検索を容易にするとともに、資料の貸し出しなどで取り扱いが便利になっている。

**残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)**

難解な古文書の解説作業を進める上で、知識を有する人材の確保が、今後の課題となってくる。また、資料の管理設備が不十分なことから保存方法について検討課題となっている。

指標①	名称	古文書解説事業				単位	件数	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	所蔵未発表古文書等の解説件数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	45.0	20.0	30.0	18.0	47.0				
	実績値・達成状況	45.0	達成	20.0	達成	30.0	達成	18.0	達成	47.0
指標②	名称	古文書講座				単位	人	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	古文書講座の募集人員と参加人数								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値					30				
	実績値・達成状況					29 未達成				
指標③	名称	古文書史料・写真資料等のデータベース化				単位	点数	指標の種別	成果	
	指標の説明・算定式	データ化予定点数 現在の所蔵古文書等・写真のデータ化								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
	目標値	58,000	80,000	57,000	20,000	10,000				
	実績値・達成状況	58,113	達成	80,742	達成	57,009	達成	26,636	達成	29,971

\* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。  
 \* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算額	27年度決算見込額
	事業費	5,656	5,146	6,030	5,676	5,524
	概算人件費	4,386	4,233	4,233	4,233	4,908
	総事業費	10,042	9,379	10,263	9,909	10,432

事業費及び概算人件費の変動要因

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	所蔵する古文書・写真等のデータベース化と解説事業が進捗することができた。また、解説事業の一環として、史料を活用して講座を開催して体験学習を行い、人材育成につなげる。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
古文書、写真資料の調査、収集、保管して永続的に保存を図るとともに、データベース化や古文書の解説事業による印刷物の刊行を進めて利用しやすいようにする。また、講座等を開催して資料の活用と事業推進のための人材育成を行う。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

